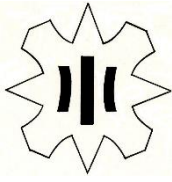


学校だより



せせらぎ

令和2年12月号

山中小学校長 後藤 弘孝



今年もあとわずかとなりました。コロナウィルス感染の脅威はまだまだ続いておりますが、保護者、地域の皆様方の温かなご支援、ご協力のおかげで子どもたちは無事に2学期を終えることができます。本当にありがとうございました。



間もなく、14日間の冬休みとなります。年末年始はご家族の距離が一段と縮まる時期となり、子どもたちにとって何より楽しいお休みになることかと思えます。2学期の成長をしっかりと実感し、さらに3学期もがんばって自分の良さを伸ばしていこうという意欲を持てるよう、子どもたちへの温かい声かけをお願いいたします。

来る令和3年が、皆様にとって良き年となることを心よりお祈り申し上げます。

「心でつながるいいところみつけ」 ～人権週間～

12月4日～10日の人権週間に合わせ、一人一人の人権意識を高め、思いやりの心や命を大切にする心を育てるための人権について考える取組を行いました。

廊下には、人権・思いやりに関わる本を展示しました。通りすがりに手にとる子どもも多く、各学級で行った道徳や学活での学習を再確認することができたのではないのでしょうか。

また、実行委員を中心に「ハッピーや・ま・な・か郵便局」を開設し、友達のいいところを手紙に書いて届け合いました。学級で一人1枚書いた後も、玄関前のポストのところにおいてあるカードに2枚目、3枚目と書いて投函する姿も見られました。この活動で、友達の良いところを見つけるということ（他者理解）、自分の良さを友達から認めてもらえるということ（自己肯定感）の大切さを意識できたのではないかと思います。

今後も『自分の大切さと共に、他の人の大切さを認める』という人権感覚を身につけ、様々な場面や状況で具体的な態度や行動につながっていくよう指導していきたいと考えています。

人権教育の学年目標	
1年	学校生活に慣れ、だれとでも仲良くすることができる。
2年	だれとでも仲良く助け合うことができる。
3年	友達の気持ちを考え、仲良く活動することができる。
4年	友達の気持ちを大切にし、協力して活動することができる。
5年	互いの違いや良さを認め、協力して活動することができる。
6年	互いの違いや良さを認め、公正・公平に行動することができる。



加賀市「ふるさと学習」に出かけました！

加賀市内の小学校では、ふるさと学習として、4年生が「九谷焼美術館」、5年生が「鴨池観察館」、6年生が「雪の科学館」を訪れて色々なことを学んできます。

山中小学校でも2学期に4、5年生が見学に出かけました。郷土の伝統工芸、自然、偉人について学ぶ大切な機会です。学校では体験できないこと、目にすることができないことについて触れることができました。

3学期には6年生が雪の科学館に出かけるほか、山中漆器に触れる体験学習も行っていく予定です。



お米の収穫を感謝して！

12月9日（水）に、米作り（稲刈り体験）をお世話して下さった菅谷町の幸前さんと林さんをお招きして「収穫感謝祭」を行いました。5年生の子どもたちは、総合の時間に米作りについていろいろ調べたり考えたりしたことを生かして、劇やクイズを準備してきました。

当日は、「おむすびころりん」の楽しい劇と、なかなか難易度の高い「お米クイズ」を披露し、楽しんでいただくことができました。会の最後には、子どもたちから感謝の言葉を伝えた後、お二人から米作りの大切さや大変さについて子どもたちに分かりやすくお話していただきました。

本当にありがとうございました。



生活科は楽しいな！

1、2年生の生活科では年間を通していろいろな楽しい活動を通して様々なことを学んでいきます。10月には2年生が「うごく うごく わたしのおもちゃ」という学習で1年生を招待してくれました。今回は1年生が「あきのおみせやさん」に2年生を招待し、みんなで楽しみました。